様式第６号（第２０条関係）

番　　　　号

令和　３　年　６月　３０日

佐賀県知事　山口　祥義　様

住　　所　佐賀県佐賀市水ケ江１丁目２番3-2号

団 体 名　NPO法人poco a bocco

代表者職・氏名　理事長　寺野　幸子

佐賀県ふるさと寄附金「ＮＰＯ等を指定した支援」による

寄附金活用実績報告書

令和２年５月５日付け県協第２６０号および令和２年８月１７日付け県協第９４８号および令和３年２月２日付け県協第２０６３号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「ＮＰＯ等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「ＮＰＯ等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

１　活用実績報告書（様式第６号　別紙１）

２　収支決算書（様式第６号　別紙２）

（様式第６号　別紙１）

令和２年度寄附金活用実績報告書

事　　業　　名	女性のココロとカラダの元気を応援する事業
寄 附 受 入 額	2,481,000　円

事業内容（いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載）

１．託児付きフィットネス実施事業

・2020 年６月～2021 年３月

・内容：週６回程度、ヨガやピラティスのレッスンにおいて専門の団体に委託し別室にてお子さんを預かる託児を無料で実施した

・事業の背景

産後の女性は体力が低下し、お産のダメージが回復しないままに家事や育児をこなしている。身体的な疲労からメンタル面にも不調をきたすケースも多く、身体のケア、体力の回復サポートが求められている。しかし佐賀県内には子連れで、いつでも、安価に利用できるフィットネス施設はほとんどなく、利益を重視する企業では託児サービスの実施は難しく、行政はわずかに実施している市町でも開催頻度が少ないうえ実施曜日が限定されるなどサービスの利便性に限界がある。

２.駐車場の維持、および隣家を活用したサービスの拡充

・2020 年７月 20 日～2021 年３月（駐車場は４月～3 月）

・当施設には現在、事業に活用できる部屋が５つあるが、託児や、講座等を同日同時間帯に実施することが増え、調整に困難をきたしている。そこで、借家となっている隣家を借りることとなった。隣家では主に、個別の相談、子どもの託児、子どもの料理教室などを実施する。

9 月以降は別団体と施設をシェアすることとなり、家賃、駐車場、光熱費などを分担することとなった。

■ポコアボッコ負担分

駐車場・隣家家賃合計　1,450,000

うち他団体負担分　　　　525,000（当団体負担 925,000）

光熱費‥別団体にて全額負担

３．佐賀県助産師会との協働による実証実験「コロナ禍でのＧＷ緊急オンライン相談」の実施

実施期間

2020 年４月 29 日（水）　から　５月６日（水）

受付時間

10:00～12:00 および 14:00～16:00　　　１枠 20 分

料金：無料

対象：主に佐賀県内に住まいの妊婦さん、育児中のママとそのご家族

アドバイザー調整担当スタッフ謝金　　300,000

WEB サイト改修・Zoom 設定運用スタッフ　300,000

事業実施の成果・効果（見込み）

１．託児付きフィットネス実施事業
年間のべ 200 人ほどのママ達が託児を利用してフィットネスに参加した。繰り返し参加をする人は子どもも託児スタッフに慣れ、泣くことなく笑顔で遊んでママを待てるようになった。運動前と運動後の変化では、ママ達の肩こりが軽くなった、子どもと離れることが出来てリフレッシュできた、回を重ねるうちに体力がついてきたといった喜びの声が寄せられた。２.駐車場の維持、および隣家を活用したサービスの拡充

２.駐車場の維持、および隣家を活用したサービスの拡充
託児や打ち合わせの場として大変重宝した。子どもの料理教室には３歳から小学校４年生までが通い、調理技術や食材の知識などを身につけた。

３．佐賀県助産師会との協働による実証実験「コロナ禍でのＧＷ緊急オンライン相談」の実施
佐賀県助産師会の会員である 11 名の助産師が 1 枠 20 分間、計 64 の相談枠を分担して予約を受け付けた。実際の相談件数は 14 件、実施率 21.9％であったが、何より参加した助産師のみなさんが初めて zoom を使ったオンライン相談を体験したことは大きな一歩となったようであった。（全助産師に対してスタッフが環境準備のサポートとデモ相談を実施）
20 分という時間が実際に長いのか短いのかも、実際に相談を受けてみて「適当な長さ」であるとの結論に至り、今後につながる貴重な実証実験となった。
その後、当団体とは別に設立した一般社団法人にて、2021 年 9 月からオンライン相談サービスをスタートし、実証実験に参加した助産師のうち 5 名がアドバイザーとして参画している。

（様式第６号　別紙２）

収　支　決　算　書

事業名	女性のココロとカラダの元気を応援する事業		
区　　分		決算額（円）	備　　考
収入	佐賀県ふるさと寄附金	2,481,000	第1回交付：370,500円 第2回交付：256,500円 第3回交付：1,854,000円
	佐賀県ふるさと寄附金2019年度繰り越し分	1,400,294	
	賃借料収入	525,000	他団体からの賃借料収入
	収入　計	4,406,294	
支出	謝金	1,774,524	託児スタッフ　232,600 フィットネス運用スタッフ謝金 941,924 オンライン相談スタッフ謝金 600,000
	旅費		
	印刷製本費		
	消耗品費		
	使用料・賃借料	1,713,736	フィットネス予約システム年間使用料 263,736 駐車場・家賃1,450,000
	光熱水費		
	返礼品等の調達に係る費用	698,410	
	返礼品等の送付に係る費用	93,674	
	広報に係る費用		
	事務に係る費用	125,950	
	支出　計	4,406,294	

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。
　経理上の区分名で記載して構いません。
○領収書等は事業終了後５年間保存してください。